

米国: 製造業が拡大サイクル入り (26年2月鉱工業生産)

～鉱工業生産の拡大ペースは加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

市場予想を小幅上回り、底堅い生産活動

26年2月の鉱工業生産は、前月比+0.2% (前月:同+0.7%) となった。拡大ペースは前月から鈍化したものの、市場予想中央値同+0.1% (筆者予想:同+0.2%) を上回り、26年入り後の生産活動の活発化を裏付ける結果となった。

内訳をみると、鉱業はエネルギー価格の安定・上昇を背景に、前月比+0.8% (前月:同+0.9%) と高い伸びを維持した。一方、公益が暖冬による暖房需要の減少が主因となり、同▲0.6% (前月:同+0.1%) とマイナスに転じた。また、製造業は、同+0.2% (前月:同+0.8%) と拡大ペースが鈍化したものの、市場予想中央値の同+0.1% (筆者予想:同+0.3%) を上回った。

製造業部門は AI 需要と自動車の下支えするも二極化

製造業全20業種のうち、2月に拡大したのは11業種と、1月の16業種から減少した。拡大の持続性において業種間の明暗が分かれた。プラス成長を維持した業種では、自動車・同部品は、トランプ政権による関税政策などへの不透明感が残るものの、低在庫水準に加え、EVからハイブリッドへのラインナップ刷新などによって、生産がプラスを維持した。また、強いAI需要を背景に、コンピューター・電子、一般機械、電気設備・機器・同部品等が伸長。さらに、非鉄、化学、プラスチックなど素材関連も総じて拡大した。

製造業の業種別生産動向を前月比でみると、拡大した業種は、自動車・同部品 (+1.7%)、その他製造業 (+1.3%)、電気設備・機器・同部品 (+1.1%)、木材製品 (+1.0%)、化学 (+0.9%) が高い伸びとなった。次いで、紙・パルプ (+0.5%)、プラスチック・ゴム (+0.5%)、コンピューター・電子 (+0.4%)、印刷・同サポート (+0.4%)、航空宇宙・その他輸送機器 (+0.3%)、非鉄 (+0.1%) の計11業種 (前月16業種) が拡大した。なお、一次金属は0.0%と横這いとなった。

一方、縮小した業種は、繊維 (▲1.7%)、石油・石炭製品 (▲1.6%)、一般機械 (▲1.2%)、その他耐久財 (▲1.1%)、家具・同関連製品 (▲0.7%) の落ち込みが目立ったほか、加工金属 (▲0.3%)、アパレル・皮革 (▲0.1%)、食品・飲料・タバコ (▲0.1%) の計8業種 (前月2業種) に増加した。

生産基調の回復トレンドの加速、設備稼働率の下げ渋り

生産の基調を3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で確認すると、2月の鉱工業全体では、公益の大幅な増加や製造業の改善等によって、同+3.2% (前月+1.2%) とプラス幅を拡大した。製造業生産は+1.1% (同▲0.5%) と増加に転じた。自動車が、EV向けの支援策の終了を受け、同▲0.4% (同▲16.3%) と依然マイナス圏ながら大幅に改善したほか、ハイテク関連が+14.7% (同+12.5%) と増勢を強め、全体の押し上げに寄与した。

2月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くなか、生産の増加によって、鉱工業で76.3% (前月

76.3%)、製造業で75.6% (前月75.6%)と横這いとなった。ただし、依然として長期平均(1972-2025年)をそれぞれ3.1ポイント、2.6ポイント下回る水準にとどまっている。

2026年通期の加速予想

前年比で見ると、拡大した業種は、一次金属、加工金属、一般機械、コンピューター・電子、電気設備・機器・同部品、航空宇宙・その他輸送機器、食品・飲料・タバコ、石油・石炭製品、化学、プラスチック・ゴムの10業種(前月11業種)にとどまり、製造業全体で+1.3% (前月+2.4%)と鈍化した。

しかし、26年の製造業生産は、減税に伴う個人消費の喚起や設備投資の拡大のほか、旺盛なAI需要、製造業の国内回帰、世界的な地政学リスクの高まりを受けた軍事装備品の需要増加、低い在庫水準等を背景に、前年比+1.7%に加速すると予想される(25年+0.9%、24年▲1.0%、23年▲0.9%)。

鉱工業生産											
	鉱工業生産		製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車 関連	設備稼働率		生産能力
									全産業	製造業 (SIC)	
25/02	+1.0	(+0.8)	+1.3	+1.7	▲1.1	+1.0	+1.5	+9.7	+76.3	+75.5	+0.1
25/03	▲0.1	(+0.6)	+0.4	+0.9	▲4.0	▲0.0	+0.5	▲0.3	+76.1	+75.8	+0.1
25/04	+0.1	(+0.9)	▲0.1	▲0.2	+1.7	+0.9	▲0.2	▲0.3	+76.1	+75.6	+0.1
25/05	▲0.2	(+0.1)	▲0.1	+0.4	▲1.0	+0.8	▲0.2	+4.3	+75.9	+75.5	+0.1
25/06	+0.5	(+0.6)	+0.3	+0.7	+1.5	▲0.9	+0.4	▲1.5	+76.2	+75.6	+0.1
25/07	+0.4	(+1.9)	+0.5	▲0.1	+0.5	+3.5	+0.3	▲1.2	+76.4	+75.9	+0.1
25/08	▲0.3	(+1.2)	+0.0	+0.9	▲3.1	▲1.4	+0.2	+2.8	+76.1	+75.9	+0.1
25/09	+0.0	(+1.9)	+0.0	▲1.0	+1.3	▲1.1	▲0.1	▲1.9	+76.0	+75.8	+0.1
25/10	▲0.5	(+1.7)	▲0.8	▲0.9	+2.0	+2.4	▲0.9	▲6.1	+75.6	+75.1	+0.1
25/11	+0.2	(+2.1)	+0.3	+0.9	▲1.5	+0.8	+0.4	▲0.5	+75.6	+75.3	+0.1
25/12	+0.3	(+1.3)	▲0.3	▲2.0	+6.0	+0.2	▲0.5	+0.2	+75.8	+75.0	+0.1
26/01	+0.7	(+2.3)	+0.8	+0.9	+0.1	+2.6	+0.8	+2.4	+76.3	+75.6	+0.1
26/02	+0.2	(+1.4)	+0.2	+0.8	▲0.6	+0.7	+0.2	+1.7	+76.3	+75.6	+0.1

(注)カッコ内は前年比



